



Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 3 階
- ◆会長 / 前田 博志 ◆副会長 / 渡辺 頼雄
- ◆幹事 / 黒澤 明男 ◆クラブ広報・情報委員長 / 新藤 修一



2019~2020 年度
国際ロータリーのテーマ

NO. 1479 令和元年11月12日

◆点鐘	前田 博志 会長
◆SAA	鴨下直哉 委員長
◆ソング	奉仕の理想
◆ゲスト	作田 永子 様(第 2600 地区RLI委員長)

【会長挨拶】 前田 博志 会長

【RLI委員長をお迎えして】

皆さんこんにちは。

一昨日は、天皇陛下の即位祝賀パレードがありました。これからの我が国が平和で幸せでありますように、そう願うに足る立派で優雅なパレードでした。何より私には雅子様がお元気になられている様子が伺えて嬉しかったです。

今日は、2600地区RLI委員長の作田さんをお迎えしています。作田さんはとてもお忙しい中、そして、ご闘病中のお身体を押して、私達の為に塩尻からお越し頂いています。本当に感謝し、心から歓迎いたします。誠にありがとうございます。

RLI, Rotary Leadership Institute.

残念ながら私達小諸浅間ロータリークラブからは過去に小林秋生さんが参加しているのみです。小諸クラブではたくさんの方が参加しているのと対照的です。それは、一つには塩尻が経済圏として感覚的にもとても遠方である事、そして、ここが肝心なのですが「RLI」そのものを私達は実は知らない、事に起因しているからです。

嬉しい事に私達クラブに現在、将来このクラブを背負って立つであろう、若い力がみなぎっています。作田委員長に触発されて、是非そのエネルギーをここに置いて行って頂きたいと思えます。

近くには佐久に井出さん。上田には私の友人である上島さんという、RLIのスペシャリストもいらっしゃいますが、こういう機会は、残念ながらそう何度も企画は出来ません。やあ井出さんいつもお世話になっています、上島さんまた飲みましょう、では得られない、VIPな感じを体験したくて無理を言って委員長さんに来て頂きました。貴重な時間を共有したいと思います。

RLIの使命は将来クラブのリーダーシップを進める事が出来る潜在能力を有するロータリアンを見出し、そのロータリアンに、ボランティア組織にとって重要なリーダーシップ技能と質の高い教育を提供することが目的だと知りました。委員長、今日はどうぞよろしくお願い致します。

【幹事報告】 黒澤 明男 幹事

1. 例会変更

上田東RC	11月27日(水)	定刻受付あり
	12月18日(水)	定刻受付あり
	12月25日(水)	定刻受付なし
	1月 1日(水)	定刻受付なし
	1月15日(水)	定刻受付なし
	1月22日(水)	定刻受付あり

2. 週報

佐久、東御RC

・例会終了後理事会

【本日の配布物】

週報 1478 号、ロータリーの友 11 月号

◆出席報告 両川 博之 委員長

会員数 21名	出席義務者 21名	免除者 0名
本日	出席 16名	
	事前 MU 1名	76. 19%
前々回(10/29)	MU 0名	76. 19%

◆委員会報告

クラブ広報・情報委員会 小林 秋生 委員

・ロータリーの友 11 月号 紹介

◆ラッキー賞

NO. 16 加藤 輝男 君

◆ニコBOX 青松 英和 委員

前田 博志君	作田委員長、ありがとうございます。
小林 秋生君	本日はRLIの卓話で専門の作田さん、地区の委員長であります。良く勉強したいと思えます。
新藤 修一君	結婚祝のお花を頂きました。ありがとうございました。
渡辺 頼雄君	作田委員長、ご歓迎申し上げます。
加藤 輝男君	台風被害があり、私達も車の水没車を引上げさせて頂きましたが、被害になられた方、本当にお見舞い申し上げます。
小池平一郎君	作田永子RLI委員長、遠路ようこそ。ご歓迎申し上げます。
青松 英和君	



本日は小諸浅間RCさんの例会にお招きいただきありがとうございます。
前田様よりRLI委員会のどなたかに卓話を頼みたいといわれまして私が行きますと返事をしました。実は10日にRLIパートⅢがございまして他の委員に頼みづらかったということもございまして、一応委員長をやっておりますので責任を取りましたし、RLIについてお話できることは願ってもないお申し出でございますのでありがたくお話しさせていただきます。

RLIとは(The Rotary・Leadership・Institute)ロータリー・リーダーシップ研究会といます。今年参加されました2600地区の会員の方が第8期生となります。本当にありがたいことに毎年熱心に参加していただいたおかげでこれまで続いております。RLIを知らない会員の方も多いため基本的なことから説明していきます。RLIは何を目的にしているかという参加されたロータリアンがロータリーをより深く理解して積極的にクラブ強化やクラブレベルを超えたロータリアンに成長していくお手伝いをしている委員会だと思っていただければほぼ間違いではないと思っております。

参加したと思って想像してみてください、1日に50分のセッションを6回違う内容を話し合います、朝9時から夕方5時までロータリーに関しての事ばかり各方面を話し合うのです。そう聞くとぞっとしそうですが部屋を移動し各セッションのDL(ディスカッションリーダー)が変わるので参加者の皆様はあまり退屈している様子はありません、それにはもう一つの要素が有って自ら意見を言ったり、経験を話したり、クラブの状況を聞かれたりするからです。

ただ、話を聞くというのは全くというほど印象に残りませんが、自分が話したこと議論したことは心に残りますし、決して忘れません。議論の中で自分と意見が違ったりすればそれは印象にのこりますよね。最近地区ではRLI方式でPETSや地区協をやりますがロータリアンの研修としてRIはこのRLIを推奨しているからです。私がこの場で力説しても例会が終われば顔ぐらいいは覚えていても話の内容はすっかり忘れられていると思います。

プロジェクターを使ってやるのもどうなのかと、ただ聞くのは身に付かないような気がします

RLIをやっていると思うことがたくさんあります。まず基本的にロータリアンは真面目な方が圧倒的だということです。年4回休まず、補修まで受けて卒業されます。私たちは職業や年齢や性別やロータリー歴が違っていても、ロータリアンというたった一つの共通点で繋がっているにもかかわらず、3回目のパートⅢぐらいになると皆さんとても仲が良くなります。北信の方と南進の方、東信の方と中信の方などクラブを超えてみんな笑顔で話しています。これはRLI発足当初考えていなかったのですが、2600地区中に知り合いや同業者の仲間ができるのです。ロータリー歴0年から20年以上のベテランの方が同じセッションの中で理解しあいお互いをリスペクトしている姿はDLをやっているとよかったと思う瞬間です。そしてロータリアンは優秀だということです。結構無理難題をお聞きするがありますが、最適な答えを自分なりに見つけていきます。DLはロータリーのことをすべて知ってはいませんが、セッション内で結論は出しません。参加者自身に考えていただくようにしております。その中で前向きな自分の考えを堂々と言っておられるロータリアンに出会います。

RLIを取り入れている地区はまだ多くはありません。今年度2620地区(山梨、静岡地区)から10名当地区のRLIに参加を受け入れました。12月にパートⅠを準備しているようです。2620地区はやっとRLIを始めることになったということです。今年度の古川ガバナーはRLI4期目の卒業生でありDLも2期ほど勤められておりますし、エレクトの成田様、ノミニーの桑澤様もRLI卒業生です。

もう8期目を終わろうとしておりますので、2600地区には300名に近いRLI経験者が居ます。RIもクラブの強化と会員の維持増加を真剣に考えているように見えます。

どうか、小諸浅間RC様もRLIに参加者のご推薦をお願いして私の卓話を終わりにします。卓話をさせていただき感謝申し上げます。ご清聴ありがとうございました。



次週のプログラム:

11月19日 「卓話」

小諸市議会議員 竹内 健一氏
次々週のプログラム:

11月26日

「ロータリー財団月間によせて
R財団・米山記念奨学会委員会